

# 2025年3月期上期 決算説明資料

2024年11月29日

株式会社ランシステム

# 目次

## 1. 決算概要

1. 2025年3月期 上期実績数値
2. 2025年3月期 予測数値
3. 貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

## 2. 事業紹介

1. 事業構成
2. 2025年3月期 上期セグメント実績
3. セグメント報告(エンターテインメント事業)
4. セグメント報告(システム事業)
5. セグメント報告(不動産事業)

## 3. 対処すべき課題

1. 対処すべき課題と対応
2. 今後の展望

## 4. 補足資料

1. 株価チャート
2. 会社情報

# 1-1. 2025年3月期 上期実績数値

※単位：百万円



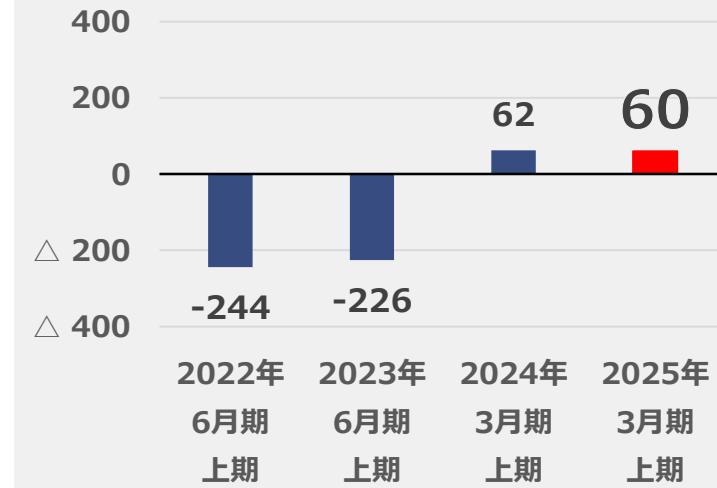
## 2025年3月期上期 売上高 3,323百万円



## 2024年3月期上期 営業利益 64百万円



## 2024年3月期上期 経常利益 60百万円



## Topics

### ■2025年3月期上期の業績

2024年3月期上期と比較して減収・減益ですが、株式会社ランウェルネスの事業売却（注1）、システム事業の大型案件（注2）及び不採算店舗の閉店（注3）の影響によるもので、基幹事業であるエンターテインメント事業における利益は大きく改善しております。

注1) 2024年3月期に子会社である株式会社ランウェルネスの全株式を譲渡いたしました。  
ランウェルネスの2024年3月期上期実績 売上高278百万円 営業利益33百万円

注2) 2025年3月期上期において快活CLUBパソコン入替・コートダジュールPOSリプレイス等の大型案件がありました。

注3) 2025年3月期上期において自遊空間6店舗・飲食店舗1店舗・アミューズメントカジノ1店舗を閉店しております。

## 自己資本比率

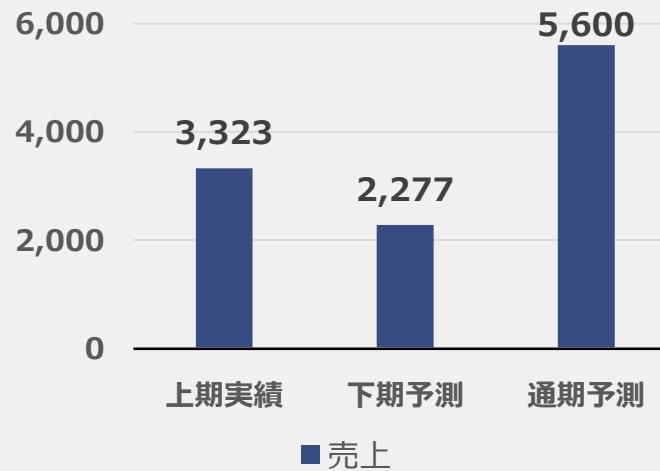


# 1-2. 2025年3月期 予測数値

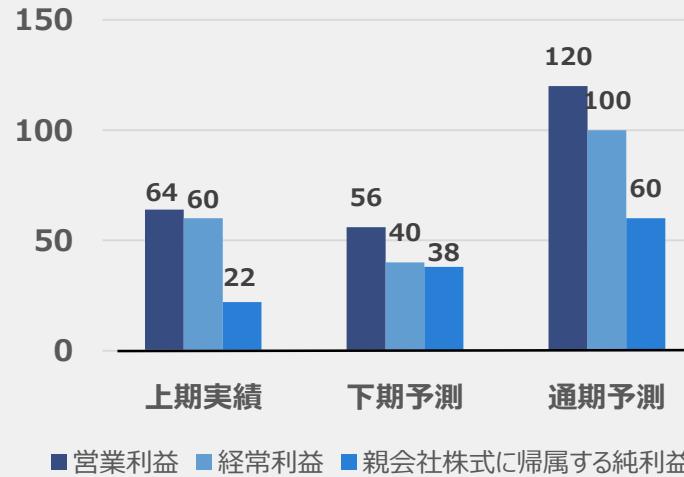
※単位：百万円



## 2025年3月期 売上高(予測)



## 2025年3月期 収益(予測)



## セグメント毎の計画

### ■ エンターテインメント事業 収益性の高い店舗に完全個室を導入

不採算店舗の閉店

### 別の業態のフランチャイズ展開

- ・個室麻雀サロンPSJとの業務委託
- ・自遊空間の新しいコンテンツとしての展開
- ・フランチャイズ加盟の推進

### ■ システム事業

新規顧客の開拓

- ・様々な業態へのアプローチ

### システム開発会社との資本業務提携

- ・株式会社GSSLABとの協業
- ・システム事業の事業規模拡大

### 将来市場を見据えた新規システムの開発

- ・省人化システムに関連した商材開発
- ・予約システムの開発・販売

## Topics

### ■ 2025年3月期の業績予想

2025年3月期は2024年3月期と比較して売上高・純利益は下回るもの、営業利益・経常利益は同程度となる見込みです。これはエンターテインメント事業・システム事業が順調に業績を伸ばしており、ランウェルネスの株式譲渡、停止していた賞与等の従業員に対する待遇改善等による減益を吸収できるためあります。

### ■ 中長期計画に向けた準備

2025年3月期に不採算店舗の閉店等により安定した収益を確保するとともに、システム事業における人員の増強や人材教育の充実を図り、事業規模を拡大させることに注力して参ります。

# 1-3. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

※単位：百万円



資産の部	2024年3月期末	2025年3月期上期末	増減	前期比	負債の部	2024年3月期末	2025年3月期上期末	増減	前期比	純資産の部	2024年3月期末	2025年3月期上期末	増減	前期比
現金及び預金	1,151	882	△269	77%	買掛金	207	153	△54	74%	資本金	100	100	—	100%
売掛金	387	310	△76	80%	1年内返済予定の長期借入金及び社債	347	1,289	941	371%	資本剰余金	236	236	—	100%
商品及び製品、原材料、貯蔵品	114	131	17	115%	リース債務	42	52	10	123%	利益剰余金	△67	△44	22	—
その他	123	123	0	101%	資産除去債務	227	45	△181	20%	自己株式	△92	△92	—	—
貸倒引当金	△0	△2	△2	—	その他	329	185	△144	56%	純資産合計	176	199	22	113%
流動資産合計	1,775	1,445	△329	81%	流動負債合計	1,155	1,726	571	149%	負債純資産合計	3,944	3,595	△348	91%
					長期借入金	2,062	1,098	△963	53%					
有形固定資産	1,456	1,541	84	106%	リース債務	146	161	15	110%	キャッシュフロー計算書	2024年3月期上期末	2025年3月期上期末	増減	
無形固定資産	37	41	4	111%	資産除去債務	122	119	△3	97%	I. 営業活動によるキャッシュフロー	137	116	△20	
投資その他の資産	675	568	△107	84%	その他	281	290	8	103%	II. 投資活動によるキャッシュフロー	△69	△319(※)	△250	
固定資産合計	2,169	2,150	△18	99%	固定負債合計	2,612	1,670	△942	64%	III. 財務活動によるキャッシュフロー	△28	△65	△36	
資産合計	3,944	3,595	△348	91%	負債合計	3,767	3,396	△371	90%					

※自遊空間6店舗・飲食店舗1店舗の閉店に伴う資産除去債務の履行による支出210百万円と敷金返還に伴う収入33百万円、店舗改装に伴う有形固定資産の取得による支出132百万円等が含まれております。

# 目次

## 1. 決算概要

1. 2025年3月期 上期実績数値
2. 2025年3月期 予測数値
3. 貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

## 2. 事業紹介

1. 事業構成
2. 2025年3月期 上期セグメント実績
3. セグメント報告(エンターテインメント事業)
4. セグメント報告(システム事業)
5. セグメント報告 (不動産事業)

## 3. 対処すべき課題

1. 対処すべき課題と対応
2. 今後の展望

## 4. 補足資料

1. 株価チャート
2. 会社情報

### エンターテインメント事業

- ・直営店舗の運営  
(株式会社ランセカンドを含む)
- ・フランチャイズ店舗のサポート
- ・各種商材の販売及び研修事業

### システム事業

- ・システム商材の販売
- ・システム商材の保守
- ・新規システム商材の開発

### 不動産事業

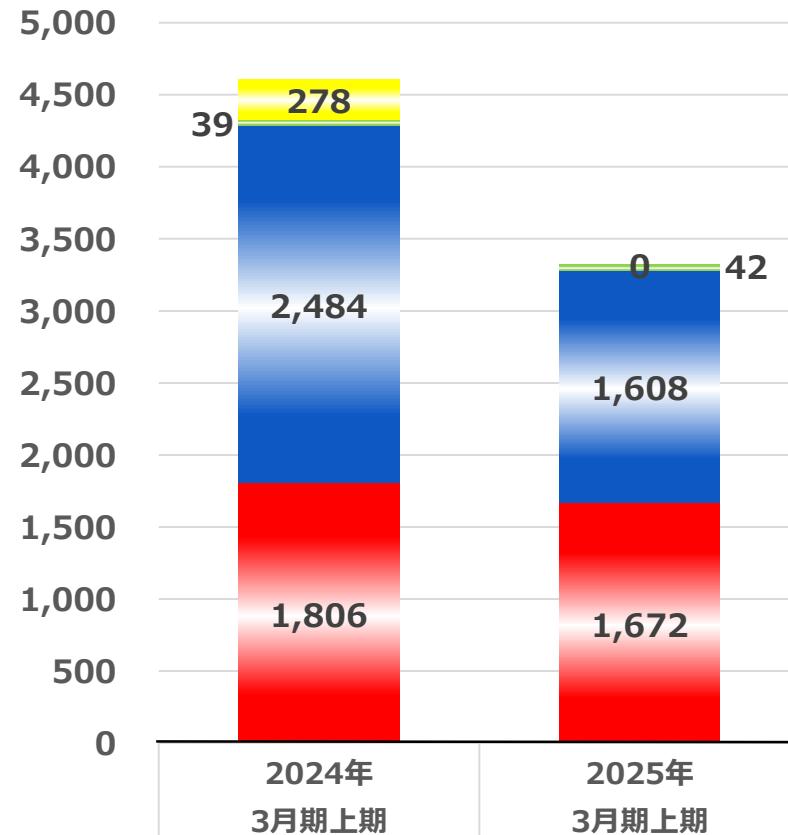
- ・不動産物件の管理

# 2-2. 2024年3月期 セグメント実績

※単位：百万円

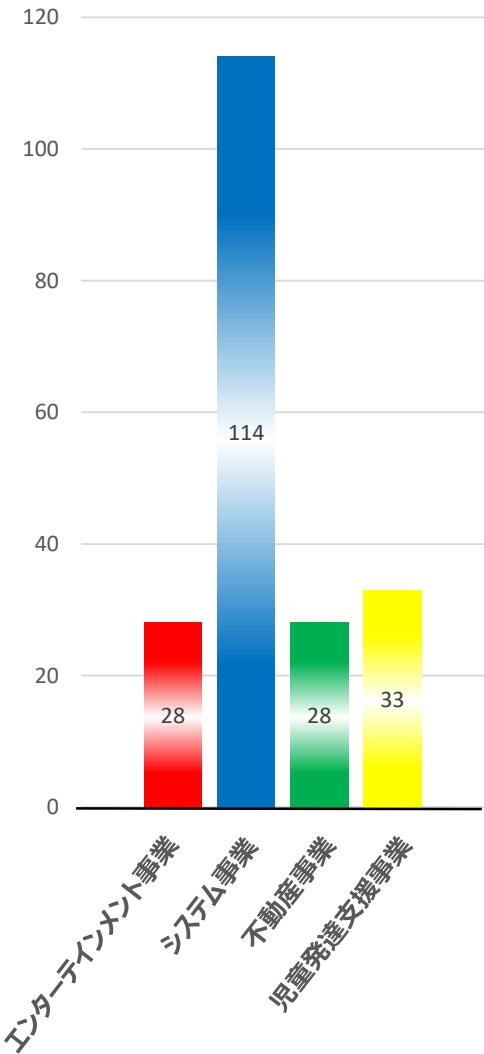


## 売上高

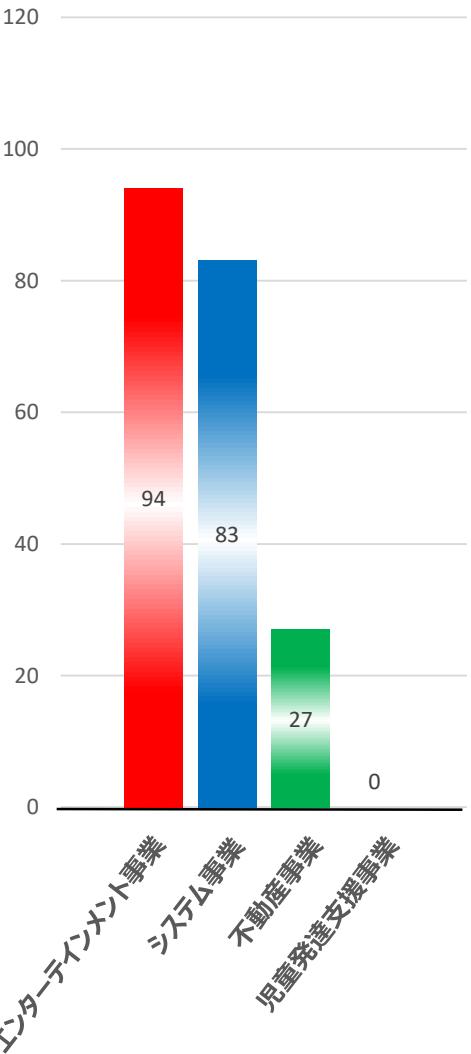


## セグメント利益

### 2024年3月期上期



### 2025年3月期上期



## 2-3. エンターテインメント事業



### 2025年3月期上期概況

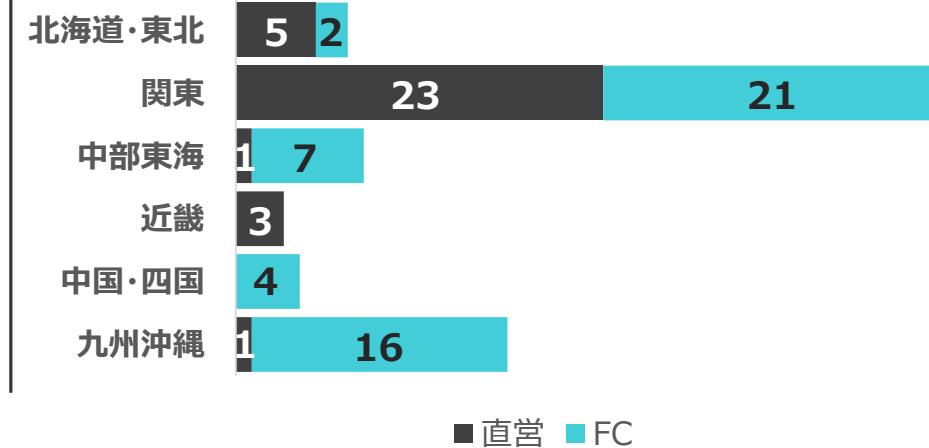
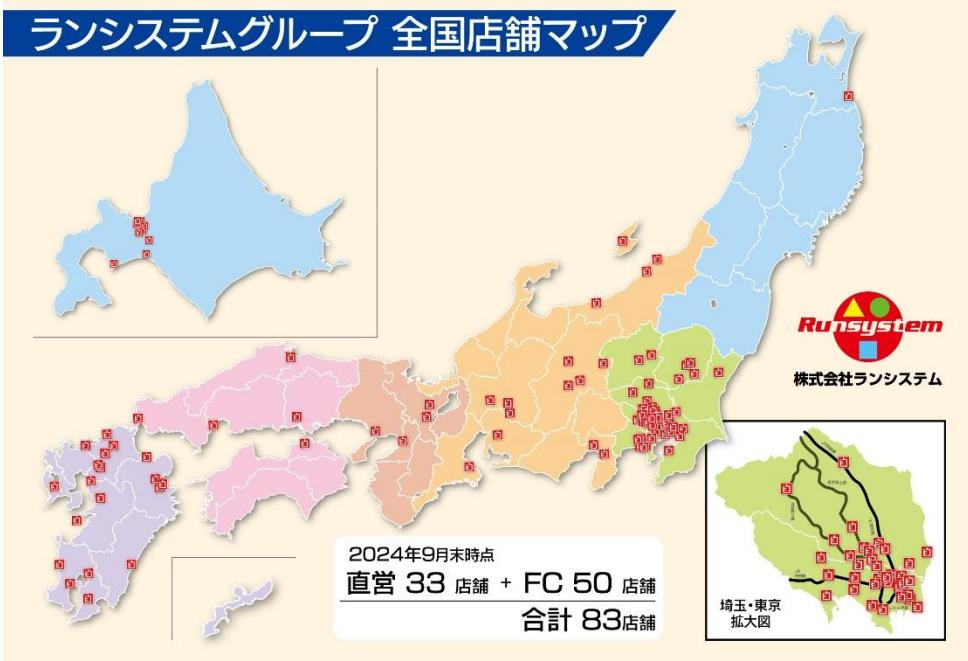
直営店舗においては、人流回復や店舗改装が功を奏し、既存店売上は前年比110%程度で推移しました。不採算店舗の閉店により売上高は減少しておりますが、収益は大きく改善しております。また、フランチャイズ店舗においても、売上高の上昇によりロイヤリティ収益が向上したこと、改裝や店舗備品の販売などで収益が増加しております。

### 2025年3月期展望

直営店舗においては、店舗改装による利便性・競争力の向上を継続して参ります。また、店舗別にコンセプトを設定して地域密着型店舗として来店目的・存在意義のある運営を行うことと、新型コロナウイルス感染症以降利用がなくなってしまっている休眠会員の掘り起こしに注力いたします。結果として、売上高は閉店店舗の影響で36期と比較して減少しますが、営業利益は増加する見込みです。

フランチャイズ店舗においては、結果が出ている店舗改装による売上向上に基づいて改裝提案を行い、ブランド力の向上及び自遊空間全体での売上向上に努めて参ります。

また、エンターテインメント事業における新たなコンテンツとして、子会社のランセカンドにて個室麻雀サロンの運営を行い、フランチャイズ展開にも協力して参ります。



## 2-4. システム事業

### 2025年3月期上期概況

システム事業においては、前年と比較して減収、減益となりました。

減収に関しては、2024年3月期にAOKIホールディングスのグループ会社向けの大型案件が複数あったため、2025年3月期においても売上規模は縮小しましたが、同程度の収益が得られております。

減益に関しては、システム事業の人員を増員し、新たな商材の開発などを積極的に行っている結果で、成長のために必要な投資と考えております。

### 製品紹介

製品名	製品概要	導入先
POSシステム	導入先の要望に合わせたオリジナリティの高いPOSシステム	カラオケ・レンタルスペース・アミューズメント施設等
遠隔接客システム	接客サービスの均質化・省人化を可能とするシステム	ホテル・インドアゴルフ・サービスセンター等
QR鍵システム	QR認証で扉の開錠を行い利用可能なコンテンツを制御するシステム	フィットネス・カラオケ・ホテル等
ConnectWise Control Access	特定のパソコンに遠隔で安全に接続することを可能とするシステム	オフィス・学校法人・医療法人等
RMC-100	電源が確保できる場所であればどこでも快適な通信を可能にするモバイルデータ通信機器	オフィスカー・移動事務所・災害地支援等

### 2025年3月期展望

2024年3月期にAOKIホールディングスのグループ会社向けの大型案件があったため、2025年3月期の売上高は減少しますが、案件数の増加により同程度の営業利益を見込んでおります。

また、我々の強みであるリアル店舗で培ったノウハウを注入したシステムに加え、今後想定される労働力不足に対応したシステム商材、QR鍵をパッケージ化し様々な業態へ販売を拡大して参ります。

さらに、人員増強、人材育成に注力し、資本業務提携を結んだ株式会社GSSLABをはじめとした様々な企業と協力し、システム開発を強化、拡大させ、販路を広げることのできるチーム作りに力を入れて参ります。それに伴い、新しいシステム商材の開発にも取り掛かり、将来的な収益の柱となる事業に成長させて参ります。

## 2-5. 不動産事業



**不動産事業においては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、安定した収益を見込んでおります。**

# 目次

## 1. 決算概要

1. 2025年3月期 上期実績数値
2. 2025年3月期 予測数値
3. 貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

## 2. 事業紹介

1. 事業構成
2. 2025年3月期 上期セグメント実績
3. セグメント報告(エンターテインメント事業)
4. セグメント報告(システム事業)
5. セグメント報告 (不動産事業)

## 3. 対処すべき課題

1. 対処すべき課題と対応
2. 今後の展望

## 4. 補足資料

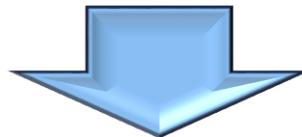
1. 株価チャート
2. 会社情報

### 3-1. 対処すべき課題と対応



消費者の生活様式・価値観の変化

AIなどのシステム領域の急速な進化



時勢の変化に合わせた収益構造・組織の改革

顧客の需要に合わせた店舗改装・コンテンツ開発

システム事業チームの再構築

## 3-2. 今後の展望



### エンターテインメント事業

#### 基本の徹底

- ・お客様目線でのサービス提供
- ・接客力の強化による顧客満足度の向上

#### 定期的な設備投資

- ・完全個室の新設や既存ブースの嵩上げなど
- ・顧客ニーズが高いコンテンツの積極的な導入

### システム事業

#### システムの力で豊かな世界を

- ・社会的課題へのソリューション開発
- ・生成AIなどの最先端技術を活用したシステム開発

#### 人員増強、人材育成

- ・顧客の要望、課題に迅速に対応できるチーム作り
- ・最先端技術を理解し応用できる人材育成

#### 実用的で革新的なシステム開発

- ・様々な業態で利用できる予約システムの新規開発
- ・店舗経験者の見解を活かした実用性の高い製品開発

# 目次

## 1. 決算概要

1. 2025年3月期 上期実績数値
2. 2025年3月期 予測数値
3. 貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

## 2. 事業紹介

1. 事業構成
2. 2025年3月期 上期セグメント実績
3. セグメント報告(エンターテインメント事業)
4. セグメント報告(システム事業)
5. セグメント報告 (不動産事業)

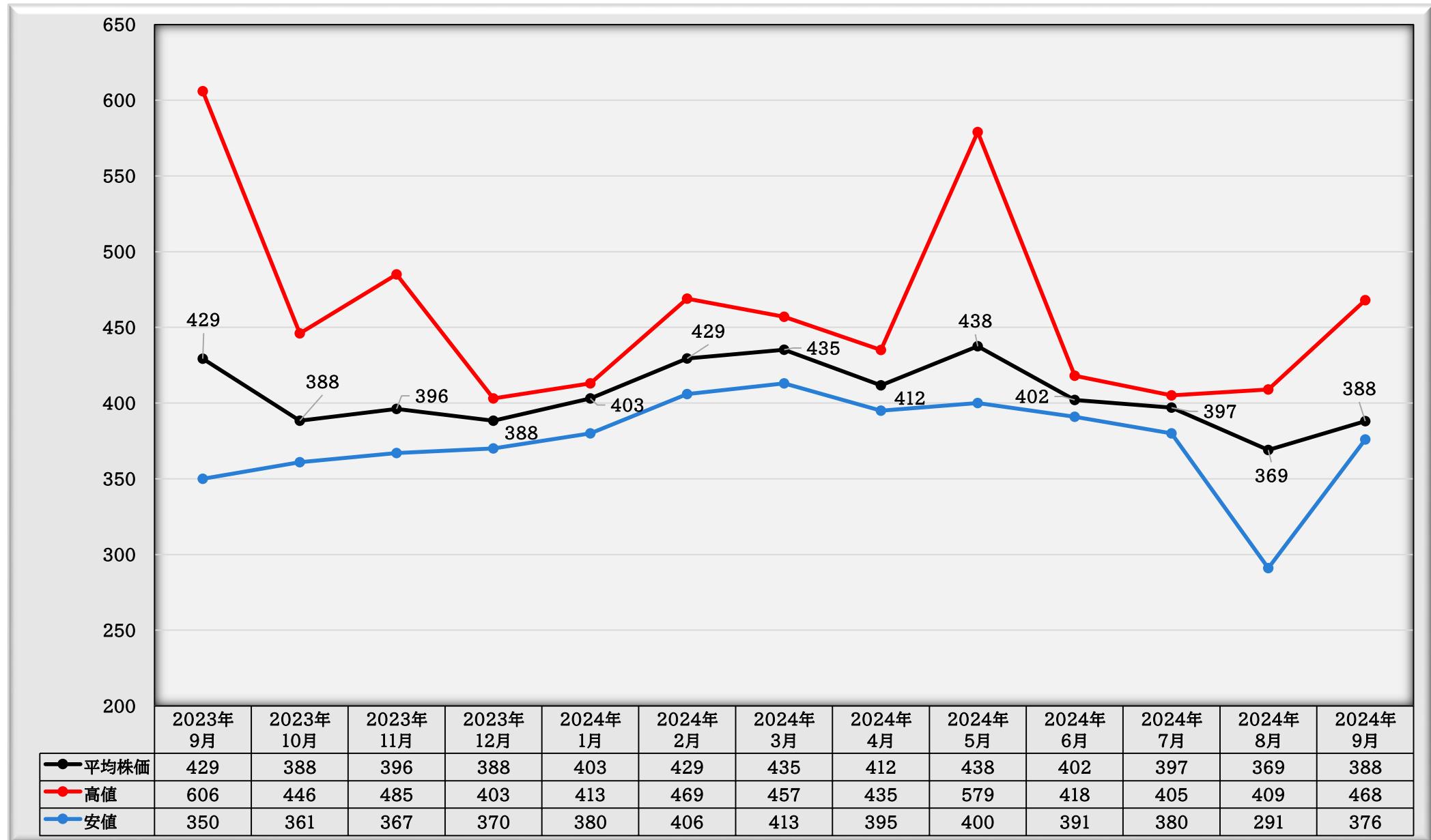
## 3. 対処すべき課題

1. 対処すべき課題と対応
2. 今後の展望

## 4. 補足資料

1. 株価チャート
2. 会社情報

# 株価チャート



社名	株式会社ランシステム (RUNSYSTEM CO.,LTD.)
設立	1988年12月21日
決算月	3月
資本金	100百万円 (発行株式数4,380,900株)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ
主な事業内容	1.エンターテインメント事業 2.システム事業 3.不動産事業
本社所在地	埼玉県狭山市狭山台4-27-38
代表者	代表取締役社長 日高 大輔 (ひだか だいすけ)
社員数	グループ社員数119名 (2024年9月末現在) ※役員除く
店舗数	グループ店舗数 83店舗 (直営33店舗・FC50店舗) 9月末現在
子会社	株式会社ランセカンド (エンターテインメント事業) 神奈川県横浜市都筑区北山田3-1-50 快活スクエアビル4F

## 【当資料についての注意点】

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものとなります。実際の業績は様々な要素により、本業績見通しとは大きく異なる可能性がありますことをご了承下さい。

資料に関するお問い合わせ先 / I R担当  
TEL:(代) 045-594-6411 E-mail:IR@runsystem.co.jp